

葬儀、法事、ご遺骨、お身体の不調
など… お気軽にご相談ください！

☎ 03-6231-4733

090-6340-9040



● ひとくち法話 ●

厳しい残暑が続きますがいかがお過ごしでしょうか。今年のお盆参りの暑さはさすがに应えましたが、ご縁を頂けることは有難いことです。/さて、8月のお盆の時期にあるお寺様の葬儀のお手伝いをさせていただいた時、参拝に来られていた男性の方から質問を受けました。「お盆の時期に亡くなるのはいいことだと聞いたんですが本当でしょうか？」とのことでした。私はこのような質問を受けるのは初めてでしたので少し戸惑いながら「浄土真宗では死に方の良し悪しはいいませんもので…」と少し遠慮がちにお応えしましたら「そうですよね」といわれて場を離れて行かれました。その後、調べましたところお盆は亡くなった方々がこの世に帰ってこられるのでそのまま迷わずあの世まで連れて行ってくれるという意味があるらしいです。/お盆にまつわる話はいろいろありますが他に「この時期は地獄の釜の蓋が開き鬼も罪人も責めるのをやめるのだから人間も休むべきだ」というのもあるそうです。改めて勉強になりました。/さて、今のお話の中に出てくる言葉に親鸞聖人の教えの中でも大切なお言葉があります。それは、「蓋が開く」という言葉です。意味を比べて説明しますと、お盆の場合「地獄の釜の蓋」ですが浄土真宗では「疑いの蓋」という意味になります。この疑いの蓋とは阿弥陀様のお救いを疑う心の事をいいますが、先程のお盆にまつわる話を鵜呑みにしてしまう心にも通じる場所があります。/阿弥陀様を疑ったり、迷信を鵜呑みにしたりする心を自力心といいそれに対し阿弥陀様を他力といいます。そこで大切なことがその自力心を捨てなさいと教えているのではなく、自力心を捨てられず迷いの世界から離れられないことをすでに見抜いてくださり、ただ「浄土で成仏させて見せるから私にまかせよ」といつでも告げてくださる南無阿弥陀仏（他力）の仏様に素直に頭が下がっているところを「疑いの蓋が開く」といって大切にしております。このことを「疑蓋無雑（ぎがいむぞう）」といい浄土真宗では最も大切な心です。南無阿弥陀仏

■ 写経・体操・法話のつどい （どなたでも参加できます！）

（内容）写経20分、体操15分、法話「正信偈」、歴史、仏事についてなどの話。

① 9月21日（木） 14時～

場合/タワーホール船堀 305号

② 10月19日（木） 14時～

場所/タワーホール船堀 302号

東京都江戸川区船堀4-1-1 都営新宿線船堀駅徒歩1分



HP

■読経とゴミ拾い

ゴミ拾いのみ、読経のみの参加もOK！ 毎月第2日曜日 開催

午前8時頃 妙蓮寺前に集合（ゴミ分別作業）... ゴミを拾いながら8時頃に集合して下さい。

8時15分頃～ 読経『正信偈・和讃』

■妙蓮寺 秋の彼岸法要

日時 9月23日（土祝） 14時～開式

勤行『仏説阿弥陀経』

14時40分頃～ ご法話 60分一席 途中休憩あり

講師 千葉県浄興寺住職 渡邊恒行師

※ 渡邊先生は妙蓮寺住職の学友でもあり、都市開教寺院の先輩でもあります。

16時頃 解散

場所 妙蓮寺本堂 駐車場有

東京都江戸川区一之江2-17-5

※ 今回のお彼岸で、ご希望の方は法要中に法名読み上げを致します。

その際、法名がわかる物（過去帳かお位牌）をお持ちください。

※ 法要中、お焼香を各自行っていただきます。お念珠をご持参ください。

ご不明な点がございましたら遠慮なくご連絡ください。

携帯090-6340-9040

固定03-6231-4733

■妙蓮寺クラブ（妙蓮寺を応援してくださる方々のつどいです） 随時受付中です！

・京都本山参拝、築地本願寺参拝、お骨預かり、築地本願寺合同墓紹介、市川合同墓紹介
築地新報配布・法語カレンダー配布など

・入会費 年間5,000円（入退会自由）/振込先 ゆうちょ銀行/口座番号 00130-0-588019

■妙蓮寺の預骨（お骨の保管にお困りの方2年～お預かりできます。）

初回法要料+預かり料（2年）4万円

保証金（お骨お返しの際返金）3万円



HP